



露地小ギク、3色揃って8月旧盆にきっちり咲かせます！

－ 8月旧盆に出荷できる露地小ギク品種の選定及び電照栽培技術を確立－

開発の背景・ニーズ

露地小ギクは中山間地花きの重要な品目です。旧盆は最需要期であり、8月5日前後の出荷が最も単価が高くなります。しかし、近年の異常な高温により、慣行栽培では開花が前進し、高単価期の出荷の妨げになっています。

そこで、電照抑制（LEDを用いた暗期中断による長日処理）による8月旧盆出荷に向けた試験を行い、品種の電照適応性を検討することで、赤、白、黄の3色揃った8月旧盆開花作型の確立に取り組みました。

成果の内容

7月開花品種を6品種供試し、5月6日定植、6月15日消灯の電照抑制作型で試験した結果、白「めざめ」、黄「ひでよ」では、平均収穫日は8月4日、切り花長は90cm以上、切り花重は60g以上の上物規格となり、8月旧盆出荷に適する品種でした。

赤「紅奴」の最適な消灯時期を検討した結果、5月12日定植、6月18日消灯で平均収穫日が8月5日となり、切り花品質も良好でした。



図1 電照点灯時の様子



表1 各品種の切り花品質（5月6日定植、6月15日消灯）

品種	平均 収穫日 (月/日)	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	75cm 調整重 (g)
小雨（白）	8/2	108.7	54.9	37.4
めざめ（白）	8/4	93.2	64.4	45.1
寿光（黄）	8/9	108.7	73.7	51.9
ひでよ（黄）	8/4	106.7	61.1	40.3
恋心（赤）	8/7	89.2	61.4	48.9
紅奴（赤）	7/29	103.3	55.2	35.5

表2 「紅奴」の消灯日と切り花品質（5月12日定植）

消灯日	平均 収穫日 (月/日)	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	75cm 調整重 (g)
6月18日	8/5	99.7	52.3	38.0
6月25日	8/10	92.2	56.3	41.9
7月2日	8/13	79.4	42.5	—

愛知県農業への貢献

適切な電照を行えば、低い時期と比較して約3倍の単価となる時期に開花させることができ、小ギク農家の収益が向上し、中山間地の農業振興に貢献できます。